

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |  |
|--------------------|-----|---|---|--|--|
|                    |     |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容                        |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |   |  |  |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                            | グループホームにおける認知症介護は、誰にでもできる仕事ではないと思います。ひとりひとりの人生や性格、価値観がケアに反映される為、責任重大です。             | 理念を掘り下げて管理者と職員とで話し合いを行い日々のケアの統一を図られています。                     | 理念を共有し意識づけしていくためにも継続して取り組まれることを期待します。    |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                            | 同町に生まれ育ち60年が過ぎ、グループホームを開設し15年目を迎えますが、若い頃にお世話になった方が入所され、家族のように共に過ごす不思議な縁に感謝しています。    | 地域の行事や季節の催しだけでなく、地域で必要とされる活動や役割を、積極的に担っています。子ども食堂の運営も行っています。 | 事業所が、地域活動や人々とのかわりの場としてのよりどころとなることを期待します。 |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                          | グループホーム花音は、近年、中重度の認知症の方を受け入れる傾向にあります。が、他施設で受け入れできなかった方が、当ホームの生活に馴染まれ、ご家族に喜んで戴いています。 | /  | /  |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている       | グループホームの入居者様の課題について事例を発表し、日頃、スタッフが関わっているケアについて皆さんに理解を促しています。                        | 運営会議は定期的実施されています。参加者が少なく変化がなく、意見もなかなか出ないとのこと。                | 固定的なメンバー以外に、地域の人への参加の声を積極的にしてはどうか。       |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                 | 独居のご主人や兄妹の方の様子や近況を聞いたりして、ご家族を含め、ご本人の安心に繋がるよう気がかけています。                               | 利用者の暮らしの様子やニーズを伝えるなど、良好な関係をと持たれています。                         |  |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | ご利用者の行動を阻止したくありませんので、帰宅願望が強い時等、付き添い親身になって話を聞くようにすると、「誠意は伝わるんだな」と感じたことがありました。        | 拘束をしないことを基本としてのケアの理解と実践に努められています。                            | 安全で安心、かつ、自由な暮らしの支援を継続されるよう期待します。         |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | 今までグループホームで培ってきた思いが、知らない間に地域の絆づくりに繋がっていることに気づき、大変、感慨深い思いをしています。                     | /  | /  |

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |  |
|----|-----|--|---|--|--|
|    |     |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容                          |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 入居者の補佐人をされている方に定期にお会いすることで、他のご利用者の方についても相談に応じて頂いています。   |  |  |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 大切な内容については、直接、面会時などにお伝えすると共に、書面で同意を頂いています。また、定期のお知らせを活用し、情報提供と理解の促しを行っています。                                 |  |  |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 職員はご家族等の面会時には、近況を伝えるようにしており、管理者はできる範囲で、どちらか1人はホームにいるようにして、ご家族とお話する機会を大切にしています。また、ご利用者に変化があれば、必ず近況をお伝えしています。 | 面会時や手紙などで、ご家族には常に尋ねるよう心掛け、何でも言ってもらえる雰囲気づくりに留意されています。 | ご家族に運営や事業のあり方に関心を持っていただけるような工夫を期待します。      |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 定期的にスタッフと個別に会い、お茶を飲みながら思いを聴くと共に、信頼関係が維持できるようにして、現状や課題の把握に努めています。  | 管理者は状況に応じて、スタッフと話し合いを行い要望や意見を聞くように努められています。          | 面談は、組織づくり、業務の一環として時と場の設定し、計画的に実施されてはでしょうか。 |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | スタッフそれぞれに生活事情があり、あるがままを受け入れながら、互いに共生していくことは大変ですが、調和することの大切さをよく考えながら、少しずつ環境整備を図っています。                        |  |  |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 毎月、地域密着型サービス連絡会とは別に、4事業所合同で研修会を企画し、ホームに持ち帰り勉強会を開催しています。1回/年は、研修会の講師も担当して勉強しています。                            |  |  |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 昨年、特に他事業所や訪問系、専門職の方との交流も多く、知識や情報の共有を図ることができ、ご利用者のケアに繋ぐことができました。   |  |  |

| 自己                          | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                                   |
|-----------------------------|-----|--|--|---|-----------------------------------|
|                             |     |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容                 |
| <b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |   |                                   |
| 15                          |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入所前の情報で疑問点は速やかに解決できるようにこまめにやりとりを行いました。入所後は環境が変わりますので、本人としっかりお話ししながら様子観察すると共に、スタッフ間で情報の共有を図っています。 |   |                                   |
| 16                          |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | ご家族の今までの介護に対する心労を考え、入所初日から、しっかりとご本人に関わり、不安を乗り越えられ、穏やかに1日を過ごされたことを電話等で伝え安心していただくようにしています。         |   |                                   |
| 17                          |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 速やかに対応すべきことはすぐに対応し、様子を観たり相談すべきことの見極めをしっかりと行い、ご家族や医師との連携を密に対応しています。                               |   |                                   |
| 18                          |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | グループホーム花音では、その時の状況により、「お母さん」と呼びし、家族に成り代わり信頼関係が築けるように関わっています。                                     |   |                                   |
| 19                          |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | よく面会に来られ、食事に付き添われるご家族がいらっしゃるが、スタッフも他のご利用者の方とも顔馴染みになられ、団らんを共に過ごされる場面が、とてもアットホームに感じられます。           |   |                                   |
| 20                          | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | ホームの近くにある知人の家まで散歩される方、近所にある今は亡き妹さん宅まで歩かれ付き添いすることもあり、思いに寄り添うようにしています。                             | 知人・友人に会いに行く、訪問してもらうなど、つながりが継続できるように支援をされています。 | 交流がや関係性の維持ができるよう支援が継続されることを期待します。 |
| 21                          |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 利用者同士の関係性が上手くいくように、必要に応じ席替えをしていますが、中には、自分の決められた席でないと納得されない方もあり対応しています。                           |   |                                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                                    |
|------------------------------------|------|--|--|--|------------------------------------|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容                  |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 長期入院になられ、当ホームへの復帰はできない方を今も定期に面会し、その回復ぶりを観て今後の支援などについても、ご家族とやりとりをしています。                                 |  |                                    |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |  |                                    |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 外出を好む方、おしゃべりが好きな方、花や外の景色を眺め過ごされる方、皆さんと歌を楽しむ方、ペット犬の「クッキー」と戯れ過ごされる方等、個別の楽しみを持って過ごされるように配慮しています。          | 日々の関わりの中で声かけをしながら、把握に努められています。家族へも繰り返し尋ね、妥当性があるかを確認し、丁寧に取り組まれています。 | 継続して支援をされることを期待します。                |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 地元、宮原の方は、管理者と馴染みの関係にあり、また、昔の記憶を辿ると、懐かしい生活歴が観えて会話が弾みます。竜北地区の方は、管理者やスタッフの両親と繋がりがあなど、思わぬ発見があり談笑することがあります。 |  |                                    |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 毎日、共に過ごす中で、個々の方の異変に気付くようになりました。介護する私たちが利用者の健康と安全を第一に考え、速やかに対応できるように努めています。                             |  |                                    |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 現在、往診可能な医院＝5件、訪問看護、訪問歯科、訪問理容、薬剤師等の方にこまめに相談や助言を戴いおり、ケアの見直しに繋げています。                                      | 月に1回、ケアプラン・モニタリングの会議をスタッフ全員で行っています。記録はケアマネージャが担当しています。             | 柔軟かつ臨機応変な対応ができる計画作成が継続されることを期待します。 |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 毎朝のミーティングや毎月の勉強会／カンファレンス会議を実施しており、必要なサービスができるようにスタッフの気づきを反映するようにしています。                                 |  |                                    |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 「かのお音頭」を毎日唄って踊って... 傾眠の多いご利用者も、この時ばかりは元気に太鼓を叩いたり、ハッスルされ、ケアに繋がっています。また、三味線伴奏での合唱は皆さんとてもリフレッシュされます。      |  |                                    |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |   |
|----|------|---|---|--|---|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 馴染みの各業者さん等とも、すっかり打ち解けられ、気軽に話しかけコミュニケーションをとられています。   |  |   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 受診される際は、様子を記録し、日々の観察記録を観ていただくようにして、助言をいただくようにしています。   | 月2回の往診があり、利用者の80%の方が診察を受けています。かかりつけ医との連携も密に図られています。その他必要時の受診は、事業所の送迎を行い、対応しています。家族への報告もされています。 | 適切な医療支援が、継続し行われることを期待します。                                 |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 准看護師1名が常勤で在籍しています。週1回の訪問看護を受け、必要時は、いつでも相談可能となっています。また、薬の配達をお願いしている調剤薬局も、随時、相談にのって頂いています。                            |  |   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時は定期に病院に出向き、様子を観てソーシャルワーカーに繋いでいます。状態を把握しグループホーム復帰がご本人にとって適していると判断した場合は、ご家族と話し合い医師に相談し、早期退院に向けて動いています。             |  |   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | かかりつけ医やご家族と利用者の現状について十分話し合い、今後の支援について方向性を明確にするように努めています。また、グループホームと他事業所の役割についても理解を促し、ぎりぎりまで普通の暮らしを支援していることを説明しています。 | 重度化に対しては、ドクターの支援を受けてぎりぎりまで支援をしていますが、最後は病院での看取りを勧めています。終末期にまでの対応は1名のドクターより了解を得ているとことです。         | 機会あるごとに、事業所の力量や体制が、重度化や終末期を支えていけるかを見極めながら支援されていくことを期待します。 |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 急変の恐れがある場合は、こまめに様子観察すると共に、ソウレンソウを徹底し備えています。また、突発的に起こる出来事には、いつでも連絡がとれるよう体制を整えています。また、毎年、緊急時の勉強会に数名参加しています。           |  |   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 定期的勉強会や訓練を実施し、実際に災害があった場合を想定し、より具体的な避難の方向性を示しています。  | 定期的な避難訓練が実施されています。災害対応に関する話し合いや、具体的な支援体制の整備にも取り組まれています。  | 災害発生時に備えて物品等の点検や準備をしておくことも大切です。                           |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                                  |
|----------------------------------|------|--|---|--|----------------------------------|
|                                  |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容                |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |  |                                  |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 向上心があり勉強会に参加する人と、そうでない人に分かれており、参加者は前向き、参加しない人は「できない」の言葉が聞かれますので、課題として受け止めています。                                | 単語として理解できるリアルな言葉を要することもあります、本人を傷つけないよう、周りに配慮しながら対応しています。 | その人らしい尊厳ある姿を大切に支援が継続されることを期待します。 |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | ご利用者は、ご自分の世界での思いがあり、その思いを阻止せず、誠心誠意で関わることを大切にしていきたいと、新任スタッフさんと最近、話したことがあります。                                   |  |                                  |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入所当日ご家族が帰られ、強い帰宅願望があり、引き止めようと行動を阻止する場面がみられましたので、それは間違っていることを伝え、外出して頂きました。その後、新任スタッフが親身になり対応することで、穏やかに帰設されました。 |  |                                  |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 麻痺がある方には家族に報告し、着易い生地サイズの合う服をスタッフが見つけてきてくれます。センスのよい服を着ておられると、みんなで「モデルさんのごたっですわ」と談笑しています。                       |  |                                  |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | お手伝いは快く、おかずの盛り付けなどは、とても丁寧に行って頂いております。誕生会のケーキづくりには、頑張って仕込みを手伝われます。   | 利用者とスタッフが一緒にメニューの話をしなが、食事の時間が楽しみになるよう心掛けがされています。         |                                  |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 飲食を摂ろうとされない方には、手を変え品を替えて召し上がって頂けるように関わっています。また、医師に相談したうえで、栄養補助飲料も飲用していただいています。                                |  |                                  |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 職員に歯科衛生士資格者職員1名在籍<br>居宅療養管理指導：訪問歯科を利用されており、医師や歯科衛生士による指導を随時受けて、食事前後の口腔ケアを実施しています。                             |  |                                  |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |  |
|----|------|---|--|---|--|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | できる範囲で布パンツを使用して頂き、排泄パターンの把握を行い、トイレでの排泄を支援しています。また、夜間オムツ交換の方も、日中は二人介助にてトイレを使用しています。                         | 排泄パターンに応じて、昼夜トイレ誘導等がされています。                               | 継続して支援されることを期待します。   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 楽しみながら身体を動かせるような活動を心がけ、また、楽しいおしゃべりで沢山笑って過ごしたり、朝から牛乳を飲んで頂くなど、それぞれの方に応じて関わっています。水分不足の方には、時間をかけて十分な補給に努めています。 |   |  |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 入浴はスタッフが利用者とのコミュニケーションを築ける大切な時間と捉えています。入浴拒否の強い方には、無理強いせずタイミングを見計らっていますが、数日続く時は、家族の協力をお願いし誘導して頂くこともあります。    | 週3回入浴を基本とされています。利用者に無理を強いることなく、一人ひとりの意向を大切にしながら支援を行っています。 | 入浴拒否が強い方に対しては、業務のあり方、手順などを再検討されてみてはいかがでしょうか。                 |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 夜間の睡眠状態や日中の様子を観ながら、休息と活動の調整を図っています。また、仮眠時間の調整時に医師の助言もいただき、廃用性の予防に留意しています。                                  |   |  |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | ご利用者の状態に合わせ、薬の変更、錠剤／散剤の選択を見極めるなど、医師や調剤薬局、訪問看護に助言を求め、個別に対応しています。  |   |  |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 家政の手伝いは、皆さん協力して行っていますが、トラブルがないように見守りながら、できる範囲で行って頂いています。肩もみや足のマッサージ等のスキンシップは大変喜ばれています。                     |   |  |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 気候の良い時を見計らい、ドライブに誘って気分転換を図っています。場所は自然が綺麗なところやショッピングセンターへ出かけ、美味しいものを食べて帰ってきています。                            | 気分転換や五感の刺激の機会として、戸外に出かけるよう積極的に取り組まれています。                  | 事業所の近くの神社や近隣への個別の外出や、身近な買い物の楽しみなど、より日常的な外出支援を検討されてはいかがでしょうか。 |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |   |
|----|------|--|---|---|---|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 時々「お金を貸してほしい」訴えや利用料を気にされる方がいらっしゃいますが、安心されるように話を傾聴しています。                                       |   |   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 新型コロナウイルス感染予防の期間に、暫く会えないことで、家族のことが分からなくなっては困りますので、別棟の交流スペースで個別に面会できるようにして、ご家族も大変喜ばれています。      |   |   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 昨年9月より、毎週土曜日に「子ども食堂」が開催されています。子供たちの元気な声心地良く響き、玄関から、お孫さんが「ばあちゃん」と声をかける場面が見られます。                | 廊下には椅子があり一人で過ごす空間が設けられています。窓からは、車や近隣の人の往来の様子が見え、会釈などの交流の場面が見られます。フロアからは調理の匂いや音など、生活感のある雰囲気です。 | 利用者の家での過ごし方や、好きなこと、馴染みのものなどを知り取り入れることで、より居心地のよい共有空間となることを期待します。 |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 目の前が神社にて、人や車の往来もあり、外の風景を眺められると気持ちも落ち着かれる様子です。また、2ユニット間の通路で、ペット犬の「クッキー」との触れ合いを楽しまれています。        |   |   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | おひとりの方は、お仏壇やご主人の写真を持ち込まれ、毎朝夕に手を合わされておられます。  | 利用者本人や家族の確認しながら、その人らしく居心地の良い居室づくりに取り組まれています。  | 利用者本人が落ち着いて過ごせるためのさらなる工夫を期待します。                                 |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 常に動かれるご利用者の方の車椅子を本人の思いから、あえてブレーキを掛けないようにしています。その代わりに、立ち上がり際に転倒がないように自動ストッパー付きの車椅子を使用いただいています。 |   |   |